

科目コード S&M121122

科目名	市場調査法 Marketing Research		選択	2単位
学期・曜日・時限	秋・月・4限	秋・月・6限	-	-
担当教員名	浅野 浩美	e-mail		
講義形式	ハイフレックス（教員は講義室から講義を実施） ※対面履修生は全回講義室から参加			
<p><講義の概要と目的></p> <p>調査について基礎的な知識を学ぶとともに、学内サイトなどを活用してWeb調査を行う。また、テキストマイニング演習を行う。</p> <p>質問紙調査では、調査の企画・立案から、実査、データクリーニング、分析、解釈まで通して行う。テキストマイニングでは、解析のしくみを学ぶとともに、KH Coderを用いて、データの分析、解釈を行う。</p> <p>これらを通じ、データを適切に収集・分析し、その結果を的確に解釈できるようになることを目指す。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な局面において、自ら課題を設定し、必要な調査を企画・設計することができる。 ・必要なデータの収集方法、取り扱い方法を理解している。 ・代表的な分析手法の特徴について理解している。 ・調査の企画・立案から、実査やデータの収集、分析、解釈まで一貫して実施することができる。 <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>Web調査では、グループで、企画・設計から、実査、データクリーニング、分析、解釈まで通して行い、その結果を取りまとめ、発表する。調査実施者のほか、調査回答者の立場も経験し、それぞれ気づいたことをフィードバックし合う。</p> <p>テキストマイニングでは、KH Coder Class Editionを用い、公開データやダミーデータを用いて、基礎的な分析を行う。気づいたことを報告し合う。</p> <p><講義計画></p> <p>講義計画は以下の通り。ただし講義の進行状況によっては、講義計画を若干変更する場合がある。</p> <p>1回目：イントロダクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：講義のねらい、進め方、ルール、評価方法などについて説明する。市場調査・社会調査の全体像と講義で取り扱うことの位置づけについて説明する。 <p>2回目：調査の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：調査の進め方について学ぶ。調査の企画・立案から実査やデータの入手、分析までの流れについて解説する。関心のあるテーマについて調査方法を検討する。 <p>3回目：データについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：利用することができるデータにはさまざまなものがある。データについて学ぶとともに、関心のあるテーマと関連するデータに実際にアクセスする。 <p>4回目：調査の企画・立案、設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：調査の企画・立案、設計のしかたについて学ぶ。Web調査実施に向けて、グループで何をテーマにするか、話し合う。調査票の作成方法や作成にあたって留意すべきことについて学ぶ。 				

5 回目：調査票の作成①

・要点：設定したテーマに対して、仮説を立て、仮説検証のために何をどのようにたずねればよいかを意識しつつ、質問すべき項目について検討する。（仮説設定用スライド、Excel 表を使用）

6 回目：調査票の作成②

・要点：分析モデルについて検討する。質問の種類・順序、回答形式を決め、教示文・質問文・回答選択肢を作成する。

7 回目：調査票の作成③

・要点：前文を作成し、Google Form に入力する。確認のうえ、調査票を完成させる。

※7 回目と 9 回目の間に、実査を行う。

8 回目：実査の振り返り

・要点：ねらいどおり調査をすることができたかについて振り返る。調査結果の分析に先立って必要な処理や留意すべきことについて学びます。回収したデータを分析できるよう準備する。

9 回目：調査結果の分析①

・要点：データの確認、データクリーニングを行うとともに、相関、回帰分析とは何かについて学ぶ。

10 回目：調査結果の分析②

・要点：単純集計、クロス集計、相関分析など基礎的な分析を行うとともに、どう示すかについて学ぶ。

11 回目：調査結果の分析③

・要点：検定、回帰分析などを行うとともに、仮説を検証する。調査・分析結果のまとめ方について学ぶとともに、発表に向けた準備をする。

12 回目：テキストマイニング①

・要点：テキストマイニングとは何かについて学ぶ。公開データを用いて、基礎的な分析を行う。

13 回目：調査結果の発表

・要点：調査結果を発表し、調査のプロセス全体を振り返る。

14 回目：テキストマイニング②

・要点：ロコモデータ（ダミーデータ）の分析を行いながら、解析結果の調整・解釈、コーディングなどについて学ぶ。

15 回目：テキストマイニング③、まとめ

・要点：テキストマイニングの活用事例について学ぶ。講義で取り組んだこと全体を振り返る。

<講義の進め方>

序盤では、調査の全体像を把握することができるよう、調査方法や調査の進め方などについて学ぶ。

中盤以降は、実際に Web によるアンケート調査を企画・設計し、学内で実施し、データクリーニングし、分析、解釈する。具体的には、まず、ディスカッションを行い、それを踏まえ、調査の企画、調査票の設計を行う。次に、学内サイトなどを用いて調査を行う。分析にあたっては、分析方法を学ぶとともに、実際に、データクリーニング、分析などを自ら手を動かして行うことを通じて手法を身につける。また、解釈のしかたについて学ぶ。

終盤では、テキストマイニング手法について学んだのち、ロコモデータなどを用いて分析を行う。

<事前事後学習内容>

事前：あらかじめ配付する事前学修資料等に目を通すこと。また、授業で指示するものについて学修すること。

事後：講義後に配付する事後学修資料に目を通し、講義で学んだ内容を振り返ること。実習を行った場合は、特にしっかり振り返ること。授業中に演習課題の提出が出来なかった場合は、実施し、提出すること。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示する。

<教科書及び教材>

教科書は指定しない。

資料は、事前に履修者がアクセスできる環境にアップロードするので、各自ダウンロードして使用すること。

<参考書>

「ビジネス・リサーチ」佐藤郁哉著、東洋経済新報社、2021年

「マーケティング・リサーチ入門」星野崇宏・上田雅夫著、有斐閣アルマ、2018年

「経営学のための統計学・データ分析」久保克行著、東洋経済新報社、2021年

「動かして学ぶ! はじめてのテキストマイニング フリー・ソフトウェアを用いた自由記述の計量テキスト分析」樋口耕一・中村康則・周景龍著、ナカニシヤ出版、2022年

その他講義時間内外に適宜紹介する。

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。

授業への貢献など60点(ディスカッションなどでの貢献20点、グループワークでの貢献25点、授業中に実施した演習課題の提出15点)、中間レポート10点、期末レポート30点

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

授業でフィードバックを行うほか、必要に応じ、Teams等でもフィードバックを行う。

<履修条件>

研究論文、事業計画書等の作成に必要なので、入学後できるだけ早い時期に履修すること。

履修要件は特になし。

テキストマイニングに用いる KH Coder (Class Edition: 無料) をインストールできるパソコンを用意すること。KH Coder の動作環境は、以下のとおり。

1 GHz 以上の 32-bit (x86) または 64-bit (x64) CPU

2GB 以上のメモリ容量(32 bit 版 OS) または 4 GB 以上のメモリ容量 (64 bit 版 OS)

5GB の空き容量のあるハードディスク

Microsoft® Windows® 10 (32-bit 版および 64-bit 版) または Windows 11 日本語 Windows7 以上

※ Mac の場合は、Mac 版 KH Coder 自動設定ソフトウェア (12,800 円) を購入し適用する必要がある。

<ディプロマポリシーとの関連>

アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当

<録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー>

月曜日3限と5限。e-mail で連絡すること。該当日以外でも必要に応じ、時間を確保する。

<その他>

特になし。